

殺虫剤

MEP マイクロカプセル剤

スミパイン® MC

農林水産省登録 第19146号

(住友化学㈱登録)

性状：淡黄色粘稠液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

有効年限：2年

包装：12ℓ

有効成分：MEP (PRTR・1種)・・・23.5%

殺虫剤分類 **1B**

スミパイン®は住友化学㈱の登録商標です。

特 長

- 残効性に優れるため、『マツノマダラカミキリ成虫発生初期』の1回散布で有効です。
- 耐雨性に優れ、散布・乾燥後の降雨による影響が少ないです。
- 有効成分のMEPが薄い膜に内包されているため、臭気が低いです。
- 散布粒子の区域外への飛散が少ないために環境に対する安全性が高いです。
- 自動車等の塗装汚染を軽減した製剤です(塗装面に付着後1日以内に洗浄すれば汚染防止が可能)。
- 消防法上の規制対象に相当しません。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農業の総使用回数
まつ(生立木)	マツノマダラカミキリ成虫	5倍	6ℓ/10a	成虫発生初期	3回以内	空中散布	6回以内
		2.5倍	3ℓ/10a				
		15倍	18ℓ/10a				
		20倍	24ℓ/10a			散布	
		50倍	3ℓ/本(樹高10m)			無人ヘリコプターによる散布	
		2.5～5倍	3ℓ/10a				
ヤシ類	ヤシオオオサゾウムシ成虫	50倍	5ℓ/本(葉柄基部直径1m)		6回以内	樹頂部に散布	

使用上の注意事項

- 本剤を空中散布または無人ヘリコプターに散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ・散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ・無人ヘリコプターによる散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・散布中薬液が漏れないように、機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・特定の農業(混用可能が確認されているもの)を除いて原則として他の農業との混用は行わないでください。
 - ・散布終了後は次の事項を守ってください。
 - 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 - 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤によるマツノマダラカミキリ成虫防除は後食防止を目的とするものであり、成虫発生初期に時期を失しないように散布してください。
- マツノマダラカミキリ成虫に対する50倍液の地上散布の単木処理をする場合、散布液量は、樹高10mの松1本当たり3ℓを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹冠部を中心に全面に散布してください。
- ヤシオオオサゾウムシ成虫に対する50倍液の地上散布を単木処理をする場合、散布液量は、目安として幹先端の葉柄基部直径1mに対して5ℓを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹頂部に散布してください。ただし、10a当たりの使用液量は100ℓをこえないでください。
- ひのきに対しては個体によって落葉、枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- 本剤を広範囲に使用する場合は、散布薬液の飛散によって他の動植物(特にあぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等の農作物、養蚕、養蜂)に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤は自動車、壁およびカラートタンなどの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 水源池、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

安全使用上の注意事項

- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 空中散布または無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密封して保管してください。